

言葉の使い方が大切

言葉によって理解も得られるし誤解も生む

相手の心情と立場を考えた言葉遣いが肝要

『言葉は 弾丸にもなる』というフレーズが、ACジャパンのCMで流れたことがあります。SNSへの投稿の仕方について注意喚起したCMですが、言葉の使い方しだいで、人を活かすこともできるし、人を駄目にしてしまうこともあります。

言葉に関わることとして、「いじめ」「パワハラ」「セクハラ」等の問題があり、反対に、ほんの一言が「心の励み」や「意欲を湧かせる」もとになることもあります。

また、言葉の行き違いから誤解が生じて大きな争いが起こることもあるし、適切な言葉を使うことによって多くの仲間を得て、事を成し遂げることもできます。

言葉は、時と場所に適した使い方が大切です。ちょっとした気配りが欠けてしまったために、これまで培ってきた信用を無くしてしまうということもあります。

特に、人の上に立ち、人をまとめ、何かを推進しようとする場合には、意欲を持たせ、やる気を起こさせる工夫が大切になります。

人は、「命令」だけでは動きません。動いていても、身の入らない上辺だけの見せかけであることが多々あります。

言葉は、特別に丁寧である必要はないし、標準語を使わないといけない訳でもありません。普段、自分が使っている言葉であって、きちんと相手の理解が得られる言葉の使い方が良好といえます。

大切なことは、その場を構成している人たちの様子と雰囲気を見て感じて、話の内容と言葉の使い方を工夫できることがすばらしい事であると思っています。人を活かすも殺すも、誠意にあるとも思っています。

